

あいみ富有の里

平成22年 2月 4日発行
発行元
あいみ富有の里地域振興協議会
編集委員会
問い合わせ先 64-3504



～お知らせ版 第21号～

◇第3回 富有塾開催

地域の人たちに学ぶ

あいみ富有の里で塾始まる

地域の人たちに学ぼう、とあいみ富有の里では昨年11月から「富有塾」を開催しています。

さまざまな分野で活躍していらっしゃる地域の人材を見つめ直すと同時に、互いの横のつながりを深め、にぎわいとやすらぎのある地域づくりにつなげることを目的にしています。

毎月第3日曜日午後3時を原則とし、初回の11月22日は建築家の田中正夫さん（円山）、12月27日は「ノーム」の吉田尚代さん（池野）に出かけてもらい、フェルト作品作りにも挑戦しました。

1月17日は3回目で、アイガモ農法などに取り組む井田真樹さん（上野）に講師をお願いし、農業や農産物に物語（ストーリー）をつくり、アピールしていくことやブランド化の必要性、長年、農業や山仕事によって守られた地域の「手自然」を生かす「とっとり・なんぶ手自然ネットワーク」の活動と幅広い話を聞きました。



次回は2月21日（日）15時からいこい荘で浅井の染織家 入江麻知子さんを講師にお招きし、簡単な機織り体験を開催したいと思います。手づくりの暖かさをみんなで体験しましょう。ふるってご参加ください。終了後は懇親会で交流を深めます。

機織りの数に限りがありますので2月15日（月）までにお申し込みください。当日に材料代500円よろしくお願います。

気になった方は、町内外を問わず友達同士声を掛け合って気軽に参加してくださいね♪

主催：総務企画部

◇可燃ごみの減量方法

布団・庭木は軟質プラスチック類へ

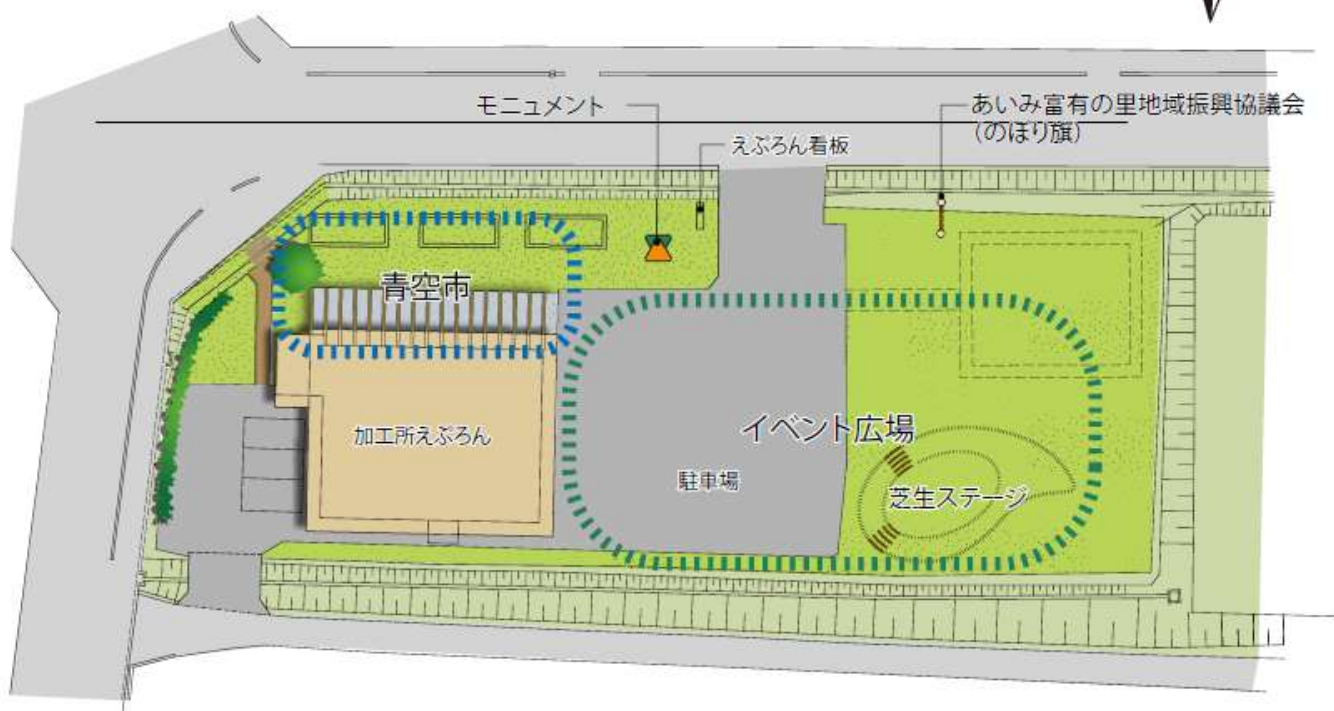
ごみの分別の中に「軟質プラスチック類」があります。買い物袋・お菓子やインスタント食品の包装袋・卵パック・ストッキング・弁当や豆腐の容器・アイスクリームやヨーグルトの容器・プラモデルやCDもこの仲間に入ります。これらは、固形燃料として再利用されます。ほとんどが分別しなければ可燃ごみになってしまいます。この仲間の中に、布団と庭木（1週間程度乾燥させた、直径10cm以下・長さ1m以下）も入ります。可燃ごみに出した場合、指定袋が必要になり、庭木の場合は長さを50cm以下にする必要があります。「軟質プラスチック類」に出せば袋は必要ありません。現在大量に可燃ごみとして出ている布団・庭木を「軟質プラスチック類」に出すことによって、可燃ごみの減量化につながります。



主催：地域づくり部

◇地域の活性化と交流の場

あいみ富有の里づくり計画



みんなが集える「えぶろん」の整備に着手

あいみ富有の里地域振興協議会では、各家庭にお配りした「富有の里づくり計画」に基づき、地域の交流拠点「えぶろん」の施設整備に着手する運びとなりました。

まずは加工施設の周辺整備として、現在の駐車場をみんなが集えるイベント広場に、そして、活動の旗じるしに「のぼり旗」約6メートルを今年度事業で設置します。

また、今年の4月から当地域振興協議会が「えぶろん」の指定管理を受けたこととともない、「青空市」の取り組みも計画しています。「えぶろん」を有効に活用しながら、交流の輪を広げ、活力とにぎわいのある地域づくりを進めましょう。

◇青色防犯パトロール団体リーダー研修会

平成22年1月29日（金）に倉吉市で県内の青パト団体のリーダー研修会が行われました。富有の里地域振興協議会から生涯学習部部長井塚照雄さんと副部長の岡田善治さんが参加しました。

なかでも南部町の取り組み状況は年々強化されており、鳥取県内の市町村取組団体は鳥取市と同じ6団体でトップ、そして車両保有台数は米子市に次ぐ15車両で県内2番目です。また富有の里では振興協議会のなかでも先進事例として、夜間の樹園地やたまり場などのパトロール、小学生の下校時見守り隊を含めて27名の地域のみなさんにボランティアスタッフとして講習を受けていただき地域の安全を見守っていただいています。

これからも地域の安心・安全のためによりしくお願いします。

主催：生涯学習部